

# 災害時における生活物資の供給協力に関する協定

千葉市（以下「甲」という。）と、株式会社カインズ（以下「乙」という。）とは、災害時における生活物資の供給協力について、次のとおり協定を締結する。

## （目的）

第1条 この協定は、災害時に甲と乙が相互に協力して市民生活の安定を図るため、生活物資の供給協力に関する事項について定めるものとする。

## （協力要請）

第2条 災害時において甲が生活物資を必要とする時は、乙に対し生活物資の供給について協力を要請することができる。

## （調達物資の範囲）

第3条 甲が、乙に供給を要請する生活物資の範囲は、原則として、次に掲げるもののうち要請時点で、乙が調達可能な物資とする。

（1）別表に掲げる物資

（2）その他災害時の応急対策に必要な物資として乙が供給できるもの

## （要請手続き）

第4条 甲の乙に対する要請は、別に定める「物資発注書」をもって行うものとする。

但し、緊急を要するときは電話またはその他の方法をもって要請し、事後「物資発注書」を提出するものとする。

2 甲と乙は連絡体制等について、常に点検、改善に努めるものとする。

## （協力実施）

第5条 乙は、前条の規定により甲から要請を受けたときは、生活物資の供給及び運搬に対する協力等に積極的に努めるものとする。

2 乙は、前条の要請により生活物資の供給を実施したときは、速やかに別に定める「物資供給報告書」により甲に報告するものとする。

## （生活物資の運搬）

第6条 生活物資の引渡場所は、甲が指定するものとし、その指定場所への運搬は、乙または乙の指定する者が行うものとする。また、乙は必要に応じ甲に対して運搬の協力を求めることができる。

2 甲は、乙が前項の規定により生活物資を運搬する車両を優先車両として通行できるように配慮するものとする。

(費用負担)

第7条 乙が提供した生活物資の代金及び運搬に要した費用は、甲が負担するものとする。  
2 前項に規定する費用は、災害発生直前における乙の小売価格等を基準とし、甲と乙が協議の上速やかに決定する。

(費用の支払い)

第8条 生活物資の代金及び運搬に要した費用は、乙の請求により甲が支払うものとする。  
2 甲は、前項の請求があったときは、その内容を確認し、速やかに乙に支払うものとする。

(情報交換)

第9条 甲と乙は、この協定の成立にかかる連絡責任者を協定締結後速やかに相手方に報告するものとし、変更があった場合には直ちに相手方に報告するものとする。

(協議)

第10条 この協定に定めのない事項、又は疑義を生じた事項については、その都度、甲と乙が協議の上決定するものとする。

(有効期間)

第11条 この協定は、協定締結の日から効力を有するものとし、甲又は乙が文書をもって協定の終了を通知しない限り、その効力を有するものとする。

この協定の成立を証するため、本協定書2通を作成し、甲乙はそれぞれ記名押印の上、各1通を保有するものとする。

平成29年5月26日

甲 千葉県千葉市中央区千葉港1番1号  
千葉市  
千葉市長 熊谷俊人

乙 埼玉県本庄市早稲田の杜一丁目2番1号  
株式会社 カインズ  
代表取締役 土屋裕雅

## 別表

## 災害時における緊急対応可能な物資

大分類	主な品種
食料品関係	水 紙コップ 紙皿 カセットコンロ カセットボンベ（3本入り） ライター
生活必需品等	トイレットロール ゴミ袋 ラップ 子供用紙おむつ 尿取りパッド ウェットティッシュ（本体） ウェットティッシュ（詰替） 使い捨てカイロ 歯磨き 歯ブラシ マスク バスタオル 乾電池
災害対策品	ショベル 水タンク 軍手 土のう袋 ブルーシート 合羽 バケツ 長靴 布テープ

# 物 資 発 注 書

平成 年 月 日

株式会社 カインズ 代表取締役 様

千葉市長

「災害時における生活物資の供給協力に関する協定」第2条に基づき、下記のとおり要請  
します。

## 記

要請する物資

要請日	要請品目	要請数量	搬入希望場所

特記事項

問い合わせ先	
担当部署	課
担当者	担当
電 話	— —
F A X	— —
メ ー ル	

# 物資供給報告書

(あて先)  
千葉市長

株式会社 カインズ  
担当部署

平成 年 月 日付で要請のあった物資については、下記のとおり供給したので報告します。

## 記

供給した物資

品 目	数 量	搬入場所	搬入日時・時刻
特記事項			
担 当 者			
所 属	氏 名	電 話 ・ F A X	メー ル ア ド レ ス